

第114号



学校教育情報・堺

平成20年2月14日
【企画・編集 学校教育部】

「魅力と活力あふれる学校づくりのために」

— 「堺・教育フォーラム」講演より —

平成19年12月26日に開催した「堺・教育フォーラム」で講演いただきました田中博之教授〔大阪教育大学〕の講演概要より一部掲載します。指導の改善を学校全体で進めていくために活用してください。

なお、講演内容につきましては、[学校教育部ホームページの配布文書](#)に掲載しています。

学校教育の改善を継続的・組織的に

◇ 目標設定がしっかりできる学校に・・・

○課題解決に向けて子どもたちの学びを改善していくための目標を設定

- ・生活習慣を改善
- ・発表する力や討論する力の育成
- ・基礎・基本の定着・習熟を図るような学習の継続 等の目標設定

○目標を達成していこうという姿勢

- ・思考力・判断力・表現力を育てる授業
- ・教科学力の向上に効果を上げる総合的な学習の時間の工夫

総合的な学習の時間で身に付けさせたい力

〔中教審の総合的な学習の時間専門部会〕

- ①自分自身に関わる力、自己成長力
- ②学び方に関わる力
- ③自然や社会、環境に関わる力

◇ 学力調査に基づいた自己診断、自己評価から自校の成果と課題を明確に・・・

○自校の学力の課題をしっかりと見いだす重要性

- ・成果をもっと伸ばすこと
- ・課題は振り返って改善すること

○自校の子どもたちの学力実態をしっかりと診断

- ・学び合おうという学習規律、授業秩序のある学級、学校づくり

○目標設定ができ、自己診断、自己評価ができる学校に生まれ変わることが大切

◇ RPDCA のサイクルの確立を…

- 計画をたて評価し改善をしていくというプロセスやサイクルを確実に
- ・ PDCA の前に、R（リサーチ）を入れて5つのステップを提案

R（リサーチ） 多面的実態把握
（例）子どもの学力や意識、行動を定期的に調査し、実態や変化を把握する。
保護者や地域の期待や要望を定期的に調査し、実態や変化を把握する。

ORPDCA サイクルを通した学力向上のマネジメントに取り組むことが大切

◇ 教職員のチームワークを大切に…

- 学年で取り組む体制、教職員が協力する体制の重要性
- 学校経営力、教師の指導力、保護者の教育力がバランスよく高まることが大切

平成19年度 教育研究論文の受賞作品の概要をシリーズで掲載します

本年度の教育研究論文の受賞作品は、優秀賞2作品、奨励賞2作品、特別賞1作品、佳作6作品でした。今回は、優秀賞の2作品のうち、**鳳小学校 伊藤秀郎教諭**の研究論文の概要を掲載します。

パーソナルコンピュータのリンク機能を利用した学習教材の開発について

現代では、地図を用いた情報システム(GIS)が普及し、地図リテラシーと言うべきものが必要になっている。そこで、初等教育の段階において地図学習を充実させるべきだと考えた。地図学習は、3年生の社会科の内容で、児童たちは興味を持って学習に取り組む。社会科は体験的・活動的な内容が豊富で、それらには多くの児童が生き生きと参加するが、教室での学習には十分取り組めていないことも多い。本研究では、地図の学習とともに、コンピュータを使用し児童たちの興味を持続させつつ、地図をとおして「資料活用能力」「表現力」の定着を図る。Microsoft Word のリンク機能を学習に取り入れ、授業の中で児童の意見を引き出し、コメント文として提示した。その結果、「関心・意欲・態度」「資料活用能力」「表現力」の向上が見られた。さらに空間的位置関係の認知情報の獲得もねらい、動的なリンクを持つツールにも言及する。

年度末のまとめや復習に活用してください!!

学校教育情報ネットワークのインフォメーションに、「学力・学習状況調査等（全国・府・堺）に関する資料（教育センター）」を掲載しています。

以下の資料を「配布文書・データ」の教育センター欄「学力・学習状況調査等（全国・府・堺）」に掲載していますので、画面上部「配布文書・データ」のタブをクリックして、年度末のまとめや復習でこれらの資料を活用してください。

- 平成19年度 全国学力・学習状況調査(小学校6年、中学校3年 国語、算数・数学) [問題と解答]
- 平成18年度 大阪府学力等実態調査(小学校6年、中学校3年 国語、算数・数学) [問題と解答]
- 平成18年度 堺市授業づくりにかかす学力調査(小学校3年～中学校3年 国語、算数・数学) [問題と解答]

※ 今後、教育委員会事務局作成の問題 [国語、算数・数学] についても掲載する予定です。